

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	全員協議会	場 所	全員協議会室
		担当職員	阿久根由美子
日 時	平成25年11月28日（木曜日） 開議 午前11時00分 閉議 午後 3時30分		
出 席 議員	議員 26名		
執行機関出席者	門総務部長、木村財政課長、山本財務係長		
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根副課長、山崎係長、坂田主任、三宅主任		
傍 聴	可・否	市民0名	報道関係者0名

会 議 の 概 要

11:00

〔総務部 入室〕

1 開議

〔木曾議長 開議〕

〔事務局長 日程説明〕

2 行政報告（財政課）

〔総務部 説明〕

11:42

〔質 疑〕

<立花議員>

P6、スタジアム建設用地の取得により市債はどうなるのか。

<財政課長>

H26年度は用地取得に10億円超え発行する。特別会計を設置し、充当率100%の先行取得事業債を当て一括購入したい。買戻すときには道路、公園事業の補助を受けながら本来の起債を発行し、先行取得事業債は繰上げ償還し財源を入れ替える。小中学校、幼稚園の耐震化、桜塚工場修繕も含め負担が大きくならないよう、全体を調整しながらやっていきたい。

<立花議員>

P11、経常収支比率は上がっている。財政指標の全国都市との比較は。

<財政課長>

中より悪い。平成 24 年度の京都府下市町村では 25 団体中 20 番目。

<吉田議員>

スタジアム建設用地取得の補助は間違いなくとれるのか。

<財政課長>

必ず取ることが前提である。

<吉田議員>

取れそうなのか。

<総務部長>

確約の段階ではないが補助が前提である。

<吉田議員>

P1、スタジアム建設関連で財政規模が増える。ファシリティマネジメントで施設の維持費を検討するべき。財政側面でも重要なことである。積極的に関わるつもりはあるのか。

<財政課長>

ファシリティマネジメントは業務委託により H25、26 年度でまとめる。統廃合も含めまとめ、そのあと財政計画を立てる。

<明田議員>

P3、改革プランは順調に進んでいるのか。

<財政課長>

H21 年度に主要 3 基金が枯渇しないように計画を進めてきた。計画どおりではあるが、残高は減ってきている。H23～25 年度は臨時的収入により伸びたが、残高が減っている状況に変わりはない。基金依存から脱却できるまで財政健全化の取組みは必要である。まだ回復状況でない。

<馬場議員>

①2015－19 今後のプランの消費税による見通しは。

②財政健全化のためか雨水排水計画が遅れている感がある。

<財政課長>

①情報収集しているが国から地方消費税等の情報がなく困っている。現行で収支を組んでいる。

②一般財源の事業で市民負担になるもの。計画は立てていかなければならないが財政状況によりなかなか進まない状況はあるかもしれない。

<福井議員>

P11、実質公債費率はスタジアム建設によりどうなるのか。

<財政課長>

140 億円が 10 億円足されて 150 億円になる。償還期間で変わる。100 億円で 1%。

〔総務部 退室〕

1 1 : 5 8

1 4 : 0 0

3 視察（水資源機構日吉ダム管理所）

○台風 18 号における日吉ダムの治水調整機能について

○日吉ダムの有する利水機能について

○ギャラリー見学

1 5 : 3 0